



地方自治体の連携・サポート組織

(一財)自治体国際化協会ロンドン事務所次長 浅田 努 (愛知県派遣)

英国には、LGA (Local Government Association)、NALC (National Association of Local Council)、SOLACE (Society Of Local Authority Chief Executive) といった地方自治体関係の組織があります。ロンドン事務所では、それぞれの団体の年次総会に参加して、英国の地方自治体の情報収集や地方自治体幹部、職員とのネットワークづくりに努めています。今回は、このうちLGAについて紹介します。

構成員及び事業概要

LGA (Local Government Association) は、地方自治体が抱える共通の課題に対して、政策提言を行う超党派の団体です。イングランド及びウェールズの地方自治体、消防当局、国立公園など414の団体で構成されています。ベストプラクティスの共有、行政改革・合理化や住民サービスの向上などについて地方自治体を支援するだけでなく、適正賃金や年金についての交渉や地方自治体の職員、グループに対しての労働問題についてのアドバイスも行っています。英国では議会が地方公共団体の執行機関で、首長、事務職員のみならず議員も地方公共団体の構成員ですので、LGAには保守党、労働党、自由党、無所属の各政党事務室があります。政党事務室では、議員や議員のグループに対して、広報誌の作成や有権者向けの政策説明会・イベントの運営支援などを行っています。

構成員のメリット

LGAの構成員は、24時間365日、LGAのメディア室にアクセスすることができ、ポジティブな記事の広報や否定論に対する反論を、もっとも適切な時期に行うことができます。また、女王のスピーチや国家予算、地方自治体に影響する規則など、日々中央政府から発表され

る事項の内容を即時に把握することができます。2014年はBBCなどの全国ネットを始め、地方新聞やオンラインニュースなどで3万以上の地方政府に関する報道がありました。さらに、コミュニケーション専門家の採用やメディアとの関係構築のアドバイスも受けられます。この他、地方自治体や議員のニーズに沿ったセミナー、ワークショップをアレンジしてもらえる上、議員や事務職員向けの能力開発プログラムに出席することができます。また、あらゆる政策分野に亘る報告書を閲覧できるほか、専門家のアドバイスを受けることができます。複雑な案件については、法的なアドバイスを求めることができます。

キャンペーン及び国会への陳情

LGAの重要な役割の一つとして、キャンペーンがあります。これは、地方公共団体が抱える最も重要な論点について、国民や議会に訴えかけるものです。キャンペーンについては、インターネット上の反響も大きく、また、国会でも広く報告や言及がなされています。2015年～2016年の論点は以下のとおりです。

- ・将来の地方財政
厳しい財政削減の中、地方自治体の行政サービスを維持するための財源を確保
- ・地方分権
地方自治体の経済的、政治的、社会的権益を確保するため、中央政府や国会からの権限移譲を実現
- ・セクター主導の促進
セクター主導の地方政府改革のグッドプラクティスの普及
- ・介護
地方自治体における公的介護予算の確保

・児童の性的搾取

児童の性的搾取についての意識の高揚

地方自治体に対するサポート体制

ノースウエスト、ウエストミッドランド、イーストオブイングランド、ロンドン、イーストミッドランド、ノースイースト・ヨークシャー・ハンバー、サウスイースト、サウスウエストの8つの地域割をし、8名のアドバイザーを配置して、議員の能力開発や組織の評価、効果的な新しい手法、サービスやマネジメントの改革や同様な課題に直面している他の地方自治体の取組内容の情報提供など、さまざまな相談に応じています。

Local Government Challenge

LGA では、地方自治体から地域の政策課題を募集するとともに、その課題の解決に向けた取り組みに挑戦する事務職員を公募してコンペティションを実施しています。毎年、挑戦課題は5つ、10人の地方自治体職員の挑戦者が募集されます。挑戦者はLGA年次総会で、最終課題をプレゼンし、来場者の投票も参考に優勝者が決定されます。優勝者には1万ポンドのキャリアアップ奨学金が与えられます。2015年は、地域への新たな投資促進、デジタルキャラクターの開発、リサイクル率向上、住宅問題、女性消防士の雇用対策の課題に取り組み、スタッフォード・カウンティ・カウンシルの職員が優勝しました。

年次総会

・カンファレンス

2015年の年次総会は、イングランド北部のヨークシャーにあるハロゲートにおいて、6月30日から7月2日までの3日間の日程で開催されました。ロンドン事務所からも私を含め3名の職員が参加しました。ハロゲートは、ロンドンから北に電車で約4時間、美しい公園やアンティークな街並みに育まれた英国でも最も人気の高い観光地です。一昨年は、「ツール・ド・フランス」のグランデパール（開幕）が開催されたのに引き続き、年次総会が開催された直前の5月には、「ツール・ド・ヨークシャー」を独自に開催するなど、スポーツツーリズムでも注目を集めている地域です。総会には、地方自治体議員、職員、エキシビションに参加のシンク



総会プログラム

タンクやNPOなどの関係者を含め、延べ1,300人が参加し、3日間で、12の全体会議、12の分科会が開催されました。

全体会議は、「新政権における分権」、「2015年総選挙とその後」、「分権の将来像」、「児童福祉」、「会計収支」、「NHS（国民保健サービス）」、「若者の科学・技術離れ」、「政治の将来」「テロリストの脅威の排除」、「労働力の確保」、「公的介護」、「子供の性的搾取と地域連携の重要性」、「地域ブランディング」、「地方財政の将来」がテーマとなっていました。総選挙後、間もないこともあり、新政権への期待や提言、地方財政緊縮の中、増え続ける医療費をどうするかなど、地方公共団体の喫緊の課題について取り上げられていました。また、開催地ならではのテーマとして、「ツール・ド・ヨークシャー」を題材にコミュニティや関係機関の連携の手法や地域ブランドの確立の仕方について議論するセッションもありました。分科会では、「民間連携による都市再生」、「地域安全とナイトタイムエコノミーによる地域の活性化」、「地方分権の事例研究」、「健康福祉委員会の将来」、「若者の就職支援」、「公共サービスにおけるビッグデータの活用」、「危機管理」、「スクールスタンダードの管理」、「公営住宅の建設と運営」、「デマンドマネジメントの事例研究」、「地方再生におけるEU資金の活用」、「行政サービスにおけるビジネス思考の活用」といったテーマが取り上げられ、夕方から夜にかけての経済にいかにかアプローチするかという、日本の地方自治体のセミナーではあまり耳慣れないテーマもありました。その他、朝や夕方の時間帯に行われたセッションでは、「事務局長向けリーダーシップ



論]、「開発業者納付金」、「グッドガバナンスのための監視」、「火災・救急サービスにおけるパートナーシップ」、「アートを通じた地域経済の発展」、「女性登用」などのテーマで、政府、地方自治体のリーダーグループ、議員、民間企業などの呼び掛けによる、22のワークショップやネットワーキングイベントが行われました。さらに、地方議員も政党ごとの会議や全体会議なども開催していました。



全体会議

・エキシビション

会場内のコンベンションホールでは、地方自治体や各政党のグループ、地方自治体年金基金、企業、NHS、NPO、大学など100を超える機関がブースを出展し、地方自治体関係者に対するプロモーションを行っていました。ペーパーレスによる事務の合理化を提案する電子機器メーカー、高齢者の健康福祉増進のための慈善団体、行政サービスに関するアドバイザリー機関、情報通信のセキュリティ、企業とのマッチングサービスを行う企業、リサイクルシステムの開発企業、作業着メーカー、ファンドマネジメント会社、人事サービス企業、公衆トイレ設営業者、公営住宅メンテナンス会社、地方自治体情報誌など地方自治体と密接に関連するあらゆる業務が紹介されていました。参加者は各ブースをまわり、情報収集や意見交換、商談などを行っており、さながら地方自治体関連サービスの総合見本市といった様子でした。

・スポンサー

開催地方自治体はもとより、銀行や投資会社、空港、

建設会社、コンピューター会社など17の企業・団体がスポンサーとなり、ワークショップの設営やエキシビションでの交流スペースの設営、ネットワーキング交流会やレセプションの提供、参加者向け資材の提供を行っていました。地方自治体が重要な取引先の一つであることをうかがい知ることができます。

LGA年次総会は、英国の地方自治体職員にとって、年に一度の自己研鑽、情報収集、ネットワーキングの貴重な場です。打合せスペースなどいたるところで、職員同士、熱心に議論する姿が見受けられました。新たな連携や事業のアイデアが生まれる場でもあるように思います。また、行政サービスに関する企業や研究機関、関連団体のサービス・商品プロモーションの場となっており、官民連携による住民サービス向上のきっかけづくりの場にもなっています。



エキシビション